

競技注意事項

R 4 東海中学総体

1 競技規則について

本大会は、2022年公益財団法人日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会の申し合わせ事項および東海四県専門委員長申し合わせ事項によって行う。

2 競技場の使用について

- (1) ウォームアップ場は、メモリアルセンター補助競技場を使用する。各練習場での練習については競技役員の指示によって行う。
※練習会場の使い方については、「東海大会資料」に示してあるので、確認してから行うこと。
- (2) 本競技場のトラックは、出場競技者に限り、大会準備に支障のない範囲で、7:30～8:15まで、トラック部分と棒高跳の練習を行うことができる。
- (3) スパイクの長さは9mm以内とする。ただし、走高跳は12mm以内とする。スパイクは先端近くで、少なくとも長さの半分は4mm四方の寸法に適合するように作られていなければならない。なお、スパイクの数は11本以内とする。（「競技用靴に関する規定」参照）
- (4) 更衣は、メモリアルセンター1階更衣室を解放する。ただし、更衣のみに利用し、荷物は置かないこと。また、貴重品は各自で管理すること。
- (5) 救護本部はメモリアルセンター1階医務室に設置する。

3 競技者の招集について

- (1) 招集所は第4コーナー入口（100mスタート地点後方通路）に設ける。
- (2) 招集完了時刻は競技開始時刻を基準とし、下記のとおりとする。

		招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技		30分前	20分前
フィールド競技	走高跳・走幅跳・砲丸投	50分前	40分前
	棒高跳	70分前	60分前

- (3) 招集の手順
 - ①競技者（本人：代理は認めない）は招集完了時刻までに招集所に集合し、点呼を受けること。また、携帯電話、スマートフォンや通信機器および音楽再生機器等は持ち込めない。
 - ②すべて競技役員（補助員）の誘導に従って入場する。
 - ③他の種目に出場しているなど特別な事由がある場合は、本人による2種目同時招集（先に招集を行う種目の招集時に、もう1種目の招集を行う）を認めるので、競技者係に申し出ること。
- (4) 招集完了時刻に遅れた競技者は、当該競技種目を棄権したものとして処理する。
- (5) 2種目を同時に出場する競技者は、当該競技審判主任の判断により、フィールド競技について試技順を変更することができる。試技順を変更しても試技時間に間に合わなかった場合は、無効試技とみなす。
- (6) 競技への出場をやむを得ず棄権する場合、招集完了時刻10分前までに競技者の所属する学校の監督教員がその旨を各県専門委員長に連絡する。

4 競技運営について

- (1) 競技運営上、競技日程及びピットを変更することがある。
- (2) 予選におけるトラック競技のレーン、フィールド競技の試技順は、主催者が公平に抽選し、プログラム記載の左側の番号で表す。トラック競技の決勝については、大型映像、ホームページにて掲示する。
- (3) レーンで行う競技種目で棄権があった場合は、そのレーンはあける。
- (4) 計時方法は写真判定(1/100秒)とする。
- (5) タイムによる決勝進出者の決定について、同記録(1000分の1)があり、レーン数が不足するときは、抽選を行う。抽選は、番組編成員が該当者をアナウンスにより招集して行う。該当者は、アナウンスより10分以内に本部へ集合する。進出決定者の発表は、アナウンス・大型映像およびホームページにて掲示する。

- (6) 3組2着+2で行なうトラック種目予選は、+2は各組3・4着のうち上位2名(チーム)とする。ただし、同記録の場合、写真判定で着差があれば着順を決定する。着差がない場合はレーンに余裕があるときは同記録者が次のラウンドに進出できるようにする。それが不可能なときは、本部の抽選により決勝進出を決定する。
- (7) 本競技会において、不正スタートは1回で失格とする。
- (8) スタートの合図は英語とする。(「On Your Marks」「Set」)
- (9) リレーのオーダー用紙は、各ラウンドの招集完了時刻1時間前までに招集所に提出すること。メンバー変更については、TR24の項を適用する。なお、用紙は招集所でも用意する。また、すべてのラウンドにおいて、リレーの申込の有無にかかわらず、低学年・共通リレーのどちらかしか出場できない。(2つのリレーをかねて出場することはできない。)
- (10) リレー競技においては、同一ユニフォームを着用する。
- (11) リレー競技のマーカーの使用は1ヶ所とする。また、マーカーは主催者側が用意し、審判員が配付する。また、各チームが用意したマーカーを使用してもよい。ただし、使用したマーカーはそのチームで処理すること。
- (12) 短距離では、事故防止のためフィニッシュライン到着後も自分に割り当てられたレーン(曲走路)を走ること。
- (13) 男子3000mはグループスタートとする。
- (14) 競技場での競技前の跳躍・投てき練習は競技役員の指示によって行うこと。
- (15) 競技者に対する助力については、競技規則TR6を適用する。

5 競技場の入退場について

- (1) 入場はすべて競技役員(補助員)の誘導に従って入場する。
- (2) 退場は競技役員の指示によって退場する。正面スタンド下、本部室前の通行は禁止する。
※退場する場合は、必ずスパイクシューズを脱いで通行すること。
- (3) 感染症予防の観点から衣類運搬を行わない。各自で管理すること。

6 ナンバーカードについて

- (1) ナンバーカードは配付されたままの大きさとユニフォームの胸・背部に確実につける。なお、跳躍種目の競技者は、背部または胸部のみでもよい。
- (2) トラック競技に出場する競技者は、招集時に腰ナンバーカード標識(シール式)を1枚受け取る。ランニングパンツ右の上部やや後方につけること。(招集時に受け取り、終了後は各自で処理すること。)

7 走高跳・棒高跳におけるバーの上げ方について

- (1) フィールド競技の招集後競技開始前の練習は、審判員の指示によって行う。
- (2) 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は、下記のとおりとする。
練習の高さを2段階(男子棒高跳は3段階)に設定し、希望により実施できるものとする。

	練習	1	2	3	4	5	6	
男子走高跳	1.60 / 1.75	1.65	1.70	1.75	1.80	1.85	1.88	以降3cm
女子走高跳	1.35 / 1.50	1.40	1.45	1.50	1.55	1.60	1.63	以降3cm
男子棒高跳	3.00 / 3.70 / 4.00	3.20	3.40	3.60	3.80	3.90	4.00	以降10cm

- (3) 走高跳・棒高跳で第1位決定時におけるバーの上げ下げは、走高跳で2cm、棒高跳で5cmずつとする。
- (4) フィールド競技の計測ライン・バーの上げ方は、当日のグランドコンディション等により、当該審判長の判断で変更することがある。

8 用器具について

競技に使用する用器具は、すべて主催者側が用意したものを使用する。ただし、棒高跳用ポールに限り個人所有のものを使用することができる。

9 表彰について

(変更) 本大会では感染症の拡大の心配から表彰は行わない。入賞者は競技後に各県の受付にて賞状を受け取る。

10 商標について（詳細は「競技会における広告及び展示物に関する規定」による）

- (1) 競技場内に商標名の付いた衣類・バッグ等を持ち込む場合、以下の規定を守ることに。
 - ① 上半身の衣類： 製造会社のロゴ:大きさは四角形の面積30cm²以内、文字は縦4cm以内、ロゴ全体で縦5cm以内とする。製造会社の表示は1ヶ所のみとする。ただし、トレーニングウェア上衣、Tシャツ、トレーナー、レインジャケットの製造会社名/ロゴ面積は40cm²以内とする。
 - ② 下半身の衣類： 製造会社のロゴ:大きさは四角形の面積20cm²以内の長方形、文字は縦4cm以内のものを1ヶ所とする。
 - ③ バッグ： 製造会社のロゴは、2ヶ所に取り付けることができる。それぞれの面積は25cm²以内のものとする。
- (2) 競技役員に指摘された場合はその指示に従う。

11 その他

- (1) 記録の発表について
アナウンスと大型映像装置で発表する。また、ホームページにて掲示も行う
- (2) 観戦について
 - ① 声を出しての応援は禁止する。担当役員の指示に従うこと。
 - ② ソーシャルディスタンスを確保し、感染症の予防に努めること。
- (3) 抗議について
結果発表のアナウンス後30分以内（次のラウンドが行われる競技では15分以内）に、競技者の所属する学校の監督教員が、その旨を各県専門委員長を通じて担当総務員に申し出る。
- (4) 応急処置を必要とする事故が発生した場合は、医務室において処置を受ける。なお、応急処置後の治療は、本人負担とする。
- (5) 各学校の控え場所および、応援横幕・のぼり旗などの設置は事前に各校に配付したプリントの通りとする。また、事故や盗難、トラブル等については設置した管理者が一切の責任を負うこととする。
- (6) 競技場メインスタンド1Fの場所割りについては、各県委員長の指示に従うこと。
- (7) ゴミは各自持ち帰りを原則とする。

◆競技者の人権保護の観点から、 写真・ビデオ撮影について、以下の点にご協力ください。

観客席からの撮影制限について

- ① 観客席からの撮影禁止エリアは下記の通りです。
 - ・各種目のスタート後方
 - ・走高跳、棒高跳、走幅跳の助走後方・着地前方
 - ・走高跳マットに向かった正面（クリアランス動作中）
- ② 保護者および本人の了解がない撮影を禁止します。
- ③ 競技者がスターティングブロックの足合わせをしたり、試技を待っていたりする間や体を動かしているなど準備行動の撮影は禁止します。
- ④ 主催者が、他者に著しく迷惑をかける行為と判断した場合は、すみやかに警察および関係機関に連絡をとらせていただきます。